



#### 第4条 自分を大切に

「みんな大変だから」と思い、我慢をすることも尊いことです。でも自分がつぶれてしまうほどの我慢はどうでしょうか。大切なのはあなたが、あなたらしく生きてゆけること。自分を大切にすることに許しを与えてもよいのです。

リブオン「大切な人をなくした人のための権利条約」より



井関景月さん おたんじょう  
白井公希くん おめでとう

6月11日(日)今日は初参式の日。

いのちの誕生を阿弥陀さまの尊前でご奉告する尊い日です。こうして人として生れたよろこび、であわせていただいたありがたさをいま一度あじわう日でもあります。あなたが生まれて親になりました。ようこそ、ようこそ。「人身受けがたし今すでに受く、仏法聞きがたし今すでに聞く」わたしも、あなたも阿弥陀さまの願いの中、多くのいのち、願いに支えられ心豊かに生きていきたい



野菜を食べよう紙芝居



プトラ君、怜那さん、  
夢菜さん、ゲーム



6月11日(日)午後からは蓮如上人讃仰の蓮如忌法要のおつとめです。員弁組浄真寺下間哲照さんが、トシちゃんと久しぶりにご出講くださいました。相変わらず食いしん坊のトシちゃんはアイスクリームのおねだり、



でもちゃんと阿弥陀さまは「見てござる聞いてござる、知ってござる」と教えてくれました。生かされてい生きるということ、忘れても自分のことを知っていてくださる方がおられることに安堵をいただくことご聴聞させていただきました。アンデスの民族楽器ケーナの演奏やギター、箏箏とのコラボなど歌や楽器演奏と盛り沢山のひととき。皆さんもいろいろと楽器などにチャレンジしてみてはいかがでしょうか、まだいける





6月12～13日鈴鹿組仏教壮年会念仏奉仕団で京都ご本山にお参りました。存仁寺からは吉井教生さん、井関俊雄さん、横山明人さんの3名が参加しました。御影堂の畳を拭き、書院での抹茶の接待や拝観、ご門主様と写真撮影、法話の聴聞、翌朝は境内の清掃とゆっくりと本願寺での時間を過ごしました。帰りには、山科別院に参拝のご縁もありました。組内の壮年の方々との親睦も深まりながら



尊い2日間の奉仕団でした。今月23日は4時から存仁寺境内にて恒例のバーベキューをします。ご参加下さい



6月3日第2回お寺ヨガがもたれて、リピーターの方、初参加の方15名で心と体のリフレッシュをしました。ありがたい事に、少しずつ参加いただく方も増え、今月は22日午後1時から3時までと、午後5時から7時までの2回に分けて開催します。どなたでも参加できますのでお友達とご来院下さいませ。

## 山菜

### (女房の故郷の味)



■女房の姉夫婦から山菜を山ほど頂いた初めて漬けたという、ふきの漬物、うど、わらび、こごみ、たらの芽ハウス内で採れた、アスパラとニラ

■うどの煮ものに鯉節を振り掛け食したアスパラの皮が硬く中々噛み切れないふきの漬物を食した、少ししょっぱいにらの玉子炒めが柔らかくて美味しい

■女房の姉夫婦は、日高門別の元農家だ現在は、農業引退で夫婦の二人暮らしゲートボールがお付き合いの日課だ趣味の範囲の野菜作りで楽しんでいる

■今日も三食に、山菜のおかずが並ぶ食卓食す度に、姉夫婦の山菜採りを思いやる熊にでも、出遭わないかと心配する今朝も、妻の山菜料理に思いがいく、

6月4日に妻の実姉夫婦が、山菜を持参して、わざわざ日高門別から訪ねて来ました。初めて漬けたというフキの漬物を私に試食を勧め、初めての言葉が出ませんでした。ところで、姉夫婦は、現在農家を止めており、趣味の程度にハウスで野菜を作り、ご近所の方々とのパークゴルフを楽しむ生活をしていきます。年に数度ですが、札幌に出て来る事が有り、其の度に我が家に顔を出しますが、その時間は短く、いつも心残りで見送りますが、今回は、2時間程居て、話に花が咲く一時を過ごさせて頂きましたが、旦那さんの歳を聞くと、車の運転は大丈夫なのかと心配になります・・・。

妻の故郷の山菜の味、大変に美味しく頂きました、ありがとうございました。山菜採りで、熊に遭わないように気を付けてください。

北海道 大島義勝さん

仏前に 光る初茄子 供えけり

十薬や 石を積たる 意縁墓

転生の 亡夫にあらざや 遠蛙

余生まだ なすことあらん 蝸牛

青藤れ 吊りて独りの タベかな

想い出の 服捨て切れず 衣替へ

紫陽花や 小さき嘘を 許したり

落合登代子

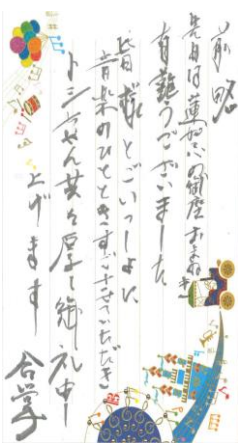
何でも人間は知り尽くしている  
それは私が何も知らない  
証である

札幌市  
大島  
光子  
さん

「お念仏に遇うために  
生はれてきた」  
「お念仏にたどり着いた  
助かる」



下間先生  
より  
皆様へ  
お礼状



暑中お見舞いもうしあげます。また、このたびは豪雨による災害など心よりお見舞い申し上げます。また、自然のこわさも伝わって来ました。なもあみだ、なんまんだ。くれぐれも、お大事にて。熱中症には十分に注意してください。

